



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：臨床研修部 中澤 大智

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 臨床研修部 中澤 大智

### **【指導医】**

聖路加国際病院 腎臓内科 藤丸 拓也

# 悪性腫瘍と診断された患者さんを対象とした

## 免疫チェックポイント阻害薬と腎障害に関する研究

### 1.研究の対象

2011年1月1日-2024年3月31日に当院で悪性腫瘍と診断され免疫チェックポイント阻害薬での治療を受けられた方

### 2.研究の目的・方法

現在、悪性腫瘍に対する治療法の一つにオプジーボやキイトルーダ等の「免疫チェックポイント阻害薬」（免疫ががん細胞を攻撃する力を保つ薬）があり、免疫チェックポイント阻害薬の副作用の一つに腎障害があることが知られております。腎障害のリスクとしてはオメプラゾールやランソプラゾール等のプロトンポンプ阻害薬と呼ばれる胃酸の分泌を抑制する薬の内服、元々の腎機能低下等が挙げられますが、本研究では、抗菌薬加療が腎障害を引き起こすリスクとなるかを調査することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年10月21日を予定しております。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、悪性腫瘍に対する治療の治療歴、併存疾患、副作用等の発生状況、カルテ番号、血液検査結果 等

《試料》なし